

■府民意識調査（おおさかQネット）の概要 速報版

実施日 平成30年11月2日～11月4日
 サンプル数 府民1,000名
 （民間調査会社に登録するWEBモニター（大阪府民18歳以上））

調査結果

① 自然災害への意識について

昨年度に比べ、地震や台風、大雨などの割合が大幅に増加。
 また、意識していない割合が、約30ポイント低下している。（複数回答）

項目	H30	H29
地震	81.0%	52.9%
台風	74.2%	41.7%
大雨・豪雨・洪水	51.4%	36.6%
竜巻・突風	15.7%	5.5%
意識していない	12.9%	42.2%
津波	10.1%	7.0%
土砂災害	8.1%	1.9%
高潮	4.3%	0.2%
その他	0.2%	0%

② ハザードマップの認知度

約4割の人が、ハザードマップを「見たことがない」「知らない」となっている。

自分に関係がある複数の災害種別のハザードマップなどを確認済み	17.9%
自分に一番関係がありそうな災害一つだけのハザードマップなどを確認済み	15.1%
災害種別は分からないが、ハザードマップなどは見たことがある	24.0%
ハザードマップなどがあることは知っているが、見たことはない	29.6%
ハザードマップなどを知らない	13.4%

③ 災害に対する家庭の備え

食料・飲料水の準備は、前回調査（H29）より約10ポイント増加しているが、その割合は5割にとどまっている。それ以外の項目はほぼ横ばいであり、大阪北部地震後もあまり意識は変化していないと考えられる。

項目	大阪府			全国 （※1）	東京都 （※2）
	H30	H29	H24		
食料・飲料水の準備	49.4%	39.3%	44.6%	45.7%	—
家具の転倒防止	17.1%	15.2%	28.0%	40.6%	65.6%
防災訓練に参加	4.6%	7.4%	20.7%	16.0%	22.3%
避難場所・経路の確認	20.1%	19.5%	8.2%	38.8%	21.3%

※1 平成30年1月 防災に関する世論調査（内閣府）

※2 平成30年3月 東京の防災プラン進捗レポート2018

④ 防災活動の参加率

参加したことがない人は、約10ポイント増加し、約7割となっている。

項目	H30	H29
防災活動に参加した	10.4%	14.9%
この1年間ではないが、それ以前に参加したことがある	16.5%	24.7%
参加したことはない	73.1%	60.4%

⑤ 自主防災組織の認知度

あることを知っている人は、約2割とほぼ横ばいである。

項目	H30	H29	H27(※3)
あることを知っている	18.2%	20.5%	20.2%
ないことを知っている	5.4%	6.1%	6.3%
あるのか、ないのかわからない	76.4%	73.4%	73.5%

※3 平成27年7月 おおさかQネット「消防団と自主防災組織」アンケート

⑥ 防災以外の地域活動

参加していない人は、約7割とほぼ横ばいである。（複数回答）

項目	H30	H29
自治会活動	10.5%	13.7%
地域の祭りや伝統行事	9.8%	11.7%
美化・清掃活動	9.4%	11.7%
防犯に関する活動	6.9%	7.7%
文化・生涯学習	2.5%	4.2%
参加していない	71.9%	66.2%

⑦ 災害時の共助への意識

共助を「行うと思う」の割合は4割と、「行わないと思う」割合を大きく上回っており、潜在的な共助に対する意識はあると考えられる。

行うと思う	40.4%
行わないと思う	8.8%
災害が起こってみたいとわからない	50.8%

⑧ ボランティアの参加率

過去3年間、ボランティア活動に参加したことがない人は、約8割となっている。

災害ボランティア	5.7%
自然や環境を守るための活動（清掃・植樹）	6.4%
社会福祉の活動（高齢者等支援）	4.5%
ボランティア活動に参加したことはない	80.5%